




平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【村田町】

1 実践テーマ	【IV】
2 実施対象者	村田町立村田小学校 3学年：50名 4学年：63名 6学年58名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ 運動会 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ 蔵の町むらた布袋祭り ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	<雀踊り>・・・3・4学年 (1) 運動会や布袋祭りで発表する「雀踊り」の演舞練習を通して、協力することの大切さを学ぶ。 (2) 講師の先生から「雀踊り」の由来を聞くことを通して、村田町と伊達家の縁を知るとともに、郷土を愛する心を育む。 <紅花染め体験>・・・6学年 (1) 紅花で栄えた町「村田」の伝統工芸である紅花染めを体験することを通して、郷土の歴史や文化についての興味・関心を高める。
5 取組内容	(1) 雀踊りを覚えよう ◆講 師：福澤 孝子 氏 ◆対象学年：第3・4学年 雀踊りを教えている講師の先生をお招きし、踊り方、隊形移動の仕方などを教えていただいた。 また、児童は、雀踊りの由来と伊達家と村田町のつながりなどについての話聞き、「踊りたい!」「踊った姿を家族の人に見てもらいたい!」という思いを強くした。 <運動会での口上> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> 時は慶長年間に 奥州仙台 伊達政宗公 青葉城を築く時 泉州境より 石工屋を 呼び寄せたりし その石工 石垣落城の宴にて 踊り始めしこの踊り それをご覧の政宗公 共に踊ると伝えられる 本日は、伊達政宗公 七男 宗高公の世にも名高い村田の里に114羽の小雀が舞い降りて 雀踊りを ご披露申します。 </div> </div>

	<p>(2) 布袋祭りに参加しよう ◆対象学年 3・4学年</p>  <p>村田町の伝統を誇る「蔵の町むらた布袋祭り」は、蔵の町並みが歩行者天国になり、町内全幼稚園、保育所、小学校などによる踊りや神楽といったストリートイベントが披露され、蔵の町並みが一年で一番のにぎわいを見せる。本年度は、平成30年10月7日に行われ、3・4年生児童は、運動会とは違った隊形で、雀踊りを演舞した。多くの観光客や保護者の方々から、拍手をもらった。</p> <p>(3) 紅花染め体験をしよう ◆講師：柴田 眞理子 氏（草木染工房 野乃色） ◆対象学年：6学年</p> <p>村田町に工房を構える講師を招き、村田町特産の紅花を使った染色体験をした。自分たちで栽培した紅花を染料として使用し、ビー玉や割りばしで模様を作り出して、世界に一つだけのハンカチを作った。</p> 
6主な成果	<p><雀踊り体験から></p> <p>○「福澤先生に教えてもらったことを思い出して、自信を持って踊ることができました。」「おうちの人に、上手だったねと褒められてうれしかったです。」など、運動会、布袋祭り後の作文に児童の喜びがたくさんつづられていた。</p> <p>○子供たちは、足のリズムと扇子の動かし方を合わせることが難しく、覚えることに苦労したが、講師が実演しながら教えていただいたおかげで、見事な踊りを披露することができ、見ている保護者や地域の方々にも大いに喜ばれた。</p> <p><紅花染め体験から></p> <p>○紅花の栽培、摘花、染色体験という一連の活動を通して、改めて村田町への愛着や誇りを強くした。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○児童を指導する第3・4年生担任が、講師から直接指導を受ける時間を設けるとともに、講師の演舞をビデオ撮影して指導に活用した。教える教師が児童に自信を持って指導できた。</p> <p>○最初に、4年生児童に踊りを教えるように練習計画を立てた。その後の合同練習では、4年生と3年生児童でペアを作り、上学年である4年生が3年生に教えるスタイルで進めた。児童同士が教え合い、互いに協力することの大切さを実感することにつながった。</p> <p>○児童が作った紅花染めのハンカチは、卒業式で親にプレゼントとして贈ることにした。児童は、親への感謝の気持ちを持って、紅花染めの作業に取り組むことができた。</p>
8主な課題等	<p>○「雀踊り」と「紅花染め体験」は、それぞれ総合的な学習の時間で実施しており、郷土の文化の良さに気付くことができた。今後は、より、発展的・探究的な学習として、異文化や共生の社会への興味・関心を高める指導の充実を図っていく必要がある。このことは、さらに郷土への愛着や誇りを高めることにつながると考える。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>○布袋祭りでは、運動会と違った隊形で踊るために、講師を再度招いた。踊りや隊形を簡素化するなどし、自前で行えるようにすることで、継続的に実践できるようにしたい。</p>